

2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2024年1月12日

東

上場会社名 株式会社サイエンスアーツ
コード番号 4412

上場取引所

URL https://www.buddycom.net

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 平岡 秀一

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 松田 拓也（TEL）03(6825)0619

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期第1四半期の業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	304	109.1	△20	—	△20	—	△20	—
2023年8月期第1四半期	145	31.0	△21	—	△21	—	△21	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	△3.08	—
2023年8月期第1四半期	△3.26	—

- （注）1. 2023年8月期第1四半期及び2024年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	959	488	50.9
2023年8月期	894	508	56.9

（参考）自己資本 2024年8月期第1四半期 488百万円 2023年8月期 508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,003	30.1	△201	—	△203	—	△204	—	△31.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期1Q	6,716,400株	2023年8月期	6,716,400株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	132,800株	2023年8月期	132,800株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期1Q	6,583,600株	2023年8月期1Q	6,561,662株

(注) 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことに伴い、経済活動及び社会活動の正常化が一段と進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の利上げ等の世界各国の金融政策の影響等による為替相場の変動や、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源価格や燃料価格の高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が事業展開する国内のソフトウェア市場におきましては、働き方改革や人手不足の解消などの課題解決に向けコミュニケーションの促進や業務の自動化・効率化につながるソフトウェアの導入が進み、2023年度は前年度比11.0%増の2兆1,938億円※1が見込まれております。また、机の前に座らない最前線で活躍するデスクレスワーカーが働く現場においては、法人向けモバイル通信端末市場の拡大、AIや画像認識等の精度向上、ウェアラブルカメラ等ハードウェアの開発と導入コストの低減、5Gの普及による映像等大容量データの活用など、様々な分野のイノベーションの発展に伴い、さらなるDX化の拡大が期待されます。当社の提供するサービス「Buddycom」の国内における潜在市場規模については、約1,400億円と推計※2しております。当社は「世界中の人々を美しくつなげる」ことをミッションに掲げ、「デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム」の新たな市場の創出を図りながら、開発・販売を行ってまいります。

このような経営環境のもと、当社の主力サービスであるBuddycomの開発及び販売に注力いたしました。売上高は順調に推移した一方、Buddycomの開発及び販売強化のための人員増加による人件費及び地代家賃の増加、知名度向上のための広告宣伝費の増加等により、販売費及び一般管理費も増加いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は304,444千円（前年同期比109.1%増）、営業損失は20,517千円（前年同期営業損失21,325千円）、経常損失は20,953千円（前年同期経常損失21,515千円）、四半期純損失は20,280千円（前年同期四半期純損失21,395千円）となりました。

※1 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」（2023年8月）

※2 国内における全ての潜在顧客、デスクレスワーカーに導入された場合の、顧客による年間支出総金額。（日本のデスクレスワーカー人口（2023年5月の総務省統計局「令和4年 労働力調査年報」より当社推計）×ID当たりの平均年間課金額）

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(Buddycom事業)

Buddycom事業におきましては、マーケティング強化による知名度の向上、営業人員の増強、代理店営業力の強化等により契約社数は増加し、当第1四半期会計期間末の契約社数は833社（前事業年度末758社）となり、ARR※は588,027千円（総務省の請負事業の一環として行う実証実験期間の短期利用契約分13,708千円を除く。）（前事業年度末557,602千円）となりました。以上の結果、当第1四半期累計期間における、Buddycom利用料売上が144,151千円（前年同期比30.4%増）、アクセサリー売上が158,918千円（前年同期比373.2%増）となり、セグメント売上高は303,070千円（前年同期比110.3%増）、セグメント損失は21,655千円（前年同期セグメント損失22,464千円）となりました。

※ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月のBuddycom利用料売上に12倍して算出。

(その他)

ALTIBASE事業を「その他」に含めております。ALTIBASE事業については、積極的には展開しない方針であり、当第1四半期累計期間におけるその他の売上高は1,374千円（前年同期比8.6%減）となり、セグメント利益は1,137千円（前年同期比0.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ65,388千円増加し、959,479千円となりました。

これは主に、現金及び預金の増加(前事業年度末比44,132千円増)、売掛金の増加(前事業年度末比23,941千円増)等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末に比べ85,669千円増加し、471,345千円となりました。

これは主に、未払金の減少(前事業年度末比42,383千円減)等はありませんでしたが、売上高が順調に推移したことによる前受収益の増加(前事業年度末比13,940千円増)、買掛金の増加(前事業年度末比15,939千円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(前事業年度末比55,530千円増)、長期借入金の増加(前事業年度末比49,838千円増)等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ20,280千円減少し、488,133千円となりました。

これは、四半期純損失計上による利益剰余金の減少(前事業年度末比20,280千円減)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期業績予想につきましては、2023年10月14日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	504,759	548,892
売掛金	66,002	89,943
商品	76,743	59,526
貯蔵品	20	11
その他	20,181	33,913
流動資産合計	667,708	732,288
固定資産		
有形固定資産	112,887	113,993
投資その他の資産	113,494	113,197
固定資産合計	226,381	227,190
資産合計	894,090	959,479
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,477	32,416
1年内返済予定の長期借入金	—	55,530
未払法人税等	290	72
前受収益	180,990	194,930
資産除去債務	7,530	—
その他	109,894	65,371
流動負債合計	315,182	348,321
固定負債		
資産除去債務	45,450	45,525
長期借入金	—	49,838
その他	25,043	27,661
固定負債合計	70,493	123,024
負債合計	385,675	471,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,121	52,121
資本剰余金	781,951	781,951
利益剰余金	△321,908	△342,189
自己株式	△3,750	△3,750
株主資本合計	508,414	488,133
純資産合計	508,414	488,133
負債純資産合計	894,090	959,479

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	145,613	304,444
売上原価	42,449	167,321
売上総利益	103,163	137,122
販売費及び一般管理費	124,489	157,640
営業損失(△)	△21,325	△20,517
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	—	40
その他	0	0
営業外収益合計	0	40
営業外費用		
支払利息	—	355
為替差損	190	119
その他	—	0
営業外費用合計	190	475
経常損失(△)	△21,515	△20,953
税引前四半期純損失(△)	△21,515	△20,953
法人税、住民税及び事業税	72	72
法人税等調整額	△193	△745
法人税等合計	△121	△672
四半期純損失(△)	△21,395	△20,280

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	144,109	144,109	1,504	145,613	—	145,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	144,109	144,109	1,504	145,613	—	145,613
セグメント利益又は損失(△)	△22,464	△22,464	1,139	△21,325	—	△21,325

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	303,070	303,070	1,374	304,444	—	304,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	303,070	303,070	1,374	304,444	—	304,444
セグメント利益又は損失(△)	△21,655	△21,655	1,137	△20,517	—	△20,517

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	110,523	110,523	—	110,523
アクセサリ売上	33,585	33,585	—	33,585
その他	—	—	1,504	1,504
顧客との契約から生じる収益	144,109	144,109	1,504	145,613
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	144,109	144,109	1,504	145,613

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	144,151	144,151	—	144,151
アクセサリ売上	158,918	158,918	—	158,918
その他	—	—	1,374	1,374
顧客との契約から生じる収益	303,070	303,070	1,374	304,444
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	303,070	303,070	1,374	304,444

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。